

NPO 法人ムーミンの会

あそびの杜保育園自己点検・自己評価表 2022年度

法人の理念

- ・平和と平等を希求し、子どもの人権を尊重しながら、保育を必要とする児童の適切な保護とよりよい成長と発達を保障します。
- ・家庭と連携して、子どもの1日24時間の生活と発達を保障します。

保育方針

保護者との緊密な連携の下、次のような方針で一人ひとりの発達のプロセスを重視しながら保育をしていく。

***子育ての科学に基づき、ヒトとしての生体の生活リズムを守り育て、子どもの発達を保障する保育**

- ①生活に科学的視点をもつ保育 ②ヒトの発達を保障する保育 ③統合保育・障害児保育
④快食保育 ⑤仲間と向かい合い育ち合う保育

保育目標

- ①ヒトとしての生体の生活リズム ②直立と直立状二足歩行と運動の巧みさ
③道具をつくる創造的な手の動きと手指の巧緻性
④ことばと認識力 ⑤精神力(言語性、行為性、社会性、創造性、感情性、自我のコントロール)
⑥自律性と自立性を育てる

*今年度の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

A・B・C・Dの4段階評価です該当する欄に○を付けてください。

A…大変良い B…良い C…一部検討を要する D…改善を要する

*なお項目ごとに意見・改善策を記述してください。

◎保育の計画の編成と実践に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標	①保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	9	11	2	0	さらに保育目標の理解を深め、職員で共通理解を図っていく。
	②目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	9	10	1	0	
	③目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	8	13	1	0	
	④目標は、前年度の反省を生かしているか。	8	12	1	0	
	⑤目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	6	10	4	0	
保育	①保育計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	13	8	1	0	保育環境を含め、子どもたちにとって何が必要か常に話し合っていくことが必要。
	②保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	9	12	0	0	
	③環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	8	12	0	0	
	④素材・用具を適切に活用しているか。	7	13	1	0	
	⑤評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。	11	9	2	0	
時程	①1日の流れ(デイリープログラムなど)は現行のままでよいか。	12	9	1	0	生体の生活リズムに沿っている。
行事	①行事の種類や実施回数は適切か。	8	13	1	0	今年度は分園ができ、子どもたちの定員も増えた。どのように行事を行っていくか、常に話し合った。
	②行事の狙いを計画や実施に十分生かしているか。	7	13	2	0	
	③乳幼児の活動を明確にし、自主的・実践的な活動か。	8	12	2	0	
	④計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	7	11	2	0	
	⑤保護者の願いや意見を取り入れているか。	7	14	0	0	

◎保育の計画の編成と実践を支える諸条件に関する評価

分掌体	①能率的・合理的な運営組織になっているか。	7	14	1	0	年度の初めに係りを決めている。人員が足りないところはお互いフォロー
	②職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	10	11	1	0	
	③職員の配置は適材・適所か。	8	9	5	0	

経営・組織	制	④係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	8	10	3	0	一している。
	運営	①各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	7	11	4	0	毎日、本園分園でそれぞれミーティングを行っている。月1回は合同で職員会議を行っている。
		②職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく、施設の運営に関わっているか。	7	14	1	0	
		③打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	5	12	4	0	
	クラス経営	①年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	8	13	1	0	本園では各年齢での保育を丁寧に行っている。分園では異年齢保育を取り入れている。とくに幼児クラスの子どもたちの姿に変化があった。
		②年齢別・クラス目標は、子どもの実態に即しているか。	8	12	2	0	
		③目標に迫る短期・長期のねらいは適切か。	7	14	1	0	
		④同年齢および異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか。	6	9	3	0	
		⑤意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	8	11	2	1	
		⑥評価、資料(諸記録)を集積しているか。	7	14	1	0	
	保健・安全指導	①年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	7	14	0	0	毎月避難訓練を行っている。地震の避難訓練は、本園分園で合同で行っている。
		②避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	9	12	1	0	
		③健康・安全な生活に必要な習慣や態度の育成のために、家庭への啓発を行っているか。	8	12	1	0	
		④子どもの安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	10	12	0	0	
研究・研修	所内	①研究主題は、保育目標の具体化につながるものであるか。	8	13	1	0	法人内研修が充実している。職員の勤務年数によって、研修の内容が異なっている。
		②所内研修の計画・運営は適切か。	7	14	1	0	
		③研究の成果を日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させているか。	4	16	2	0	
		④研究の実践により、子どもへの理解が深まっているか。	7	15	0	0	
	所外	①各種研究会、研修会、講習会への参加態度の充実を図っているか。	6	12	2	0	研修で学んだことを、共有する時間が確保できると良い。
		②各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	6	11	3	0	
情報について	①子どもや保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか。	17	5	0	0	個人情報の扱いには十分注意していく。職員への周知も行っていく。	
	②公文書收受、発送、処理、保管は適切か。	16	6	0	0		
	③各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	15	7	0	0		
施設・設備	①施設内外の設備の安全点検は計画的か。	10	12	0	0	遊具、用具の整備点検を定期的に行う。園内の整理整頓を心掛ける。掲示板の有効活用が必要。	
	②遊具・用具等を活用しやすく整理・保管しているか。	5	13	1	0		
	③不審者等に対応する周致な配慮を行っているか。	10	12	0	0		
	④掲示板・掲示場所等を有効に活用しているか。	11	11	0	0		
出納経理	①各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	11	9	0	0		
施設間交流	①他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	5	15	2	0	5歳児が同じ法人内の保育園、小学校と交流する機会がもてた。	
	②他施設等の幼児・児童生徒などと触れ合うなかで、子どもが楽しく過ごし、充実感をもつことのできるような配慮や援助・支援を行っているか。	4	16	2	0		
	③指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助に	4	16	2	0		

開 か れ た 保 育 所 作 り	・ 連 携	ついて共通理解を図っているか。					
		④参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校・療育機関等の保育・教育を理解しているか。	6	12	4	0	
		⑤日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。	6	13	4	0	
	家 庭 ・ 地 域 社 会 と	①参観時間を制限せず、誰でも参観できる日を設定しているか。	6	10	6	0	保育参観は、分散して行った。保護者の方と子どもたちの成長を
		②保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	6	13	3	0	
		③子どもの興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	6	13	3	0	
		④地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	3	12	7	0	
	子 育 て 支 援 の 推 進	①地域の子育て支援センターとして、園庭や保育室などを開放しているか。	4	5	12	0	コロナ禍で、地域の人との関わりはなかなか作れなかった。 保育園の見学時や、保護者の方との面談の中で話す機会があった。 保護者学習会を年2回行っている。
		②地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	4	7	10	0	
		③[子育てについて]など保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	7	11	3	0	
		④職員による子育てに係る「子育て相談」は充実しているか。	5	13	3	0	
		⑤医療機関、児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	7	11	3	0	
	情 報 発 信	①保育所便り、クラス通信、ホームページなどで施設の情報を提供しているか。	11	11	0	0	法人のホームページがある。一斉メールを活用している。
		②行事や子育て支援事業などを、地域の連絡会や児童施設、小学校などに対して周知している。	8	12	2	0	
	外 部 評 価	①第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	11	10	1	0	今年度、第三者評価を受審した。
	②地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	10	11	1	0		

中長期的な目標の明文化

- ・2022年4月に第二子ども子育て支援複合施設内に分園が開所した。重心・医ケア児の受け入れ、一時保育などの事業を初めて実施した。今後も研修などを行い、職員を育成する。
- ・保育士、看護師や調理職員たちと情報を共有しながら安全に留意し保育を行う。また、施設内のつむぎ子ども教室や陽だまり学童クラブと連携を取り合い、子どもたちを支援し活動の保障をする。
- ・今後も、乳児棟の本園では乳児の保育をゆったりとした空間で丁寧に行い、幼児棟の分園では広い空間での運動を保障し、異年齢での保育も充実させていく。
- ・職員間のコミュニケーションを大切にしながら、全職員で行事を含めた本園と分園の交流の方法や地域とのつながり方を考え実践していく。